

うかいの魅力を伝えるために

大洲のうかいをPRするために、市観光協会職員らで構成される県内宣伝隊出発式が5月11日(木)、市役所前で開かれました。

出発式では、大洲市観光協会の古森^{たつお}達夫会長が「今年は観光うかがが始まって60年。それを記念して、『第22回全国うかいサミット大洲大会』が開催されるほか、新しい屋形船も造船された。期間中、素晴らしいうかいにしていきたい」とあいさつしました。

宣伝隊は、松山市内のテレビ局や新聞社などを訪れ、うかいの魅力を宣伝しました。



新屋形船「臥龍1号」安全祈願祭

5月17日(水)、肱南ピクニックランド前河原において「臥龍1号」がお披露目となり、関係者40人が出席し安全を願って神事が行われました。



中川^{よしひろ}義博観光協会副会長が「うかいの大きな武器として来客増につなげたい」とあいさつし、清水市長は「ゆったりとした最高の空間で、おもてなしを味わってほしい」と話しました。その後、関係者らは船に乗り込み、臥龍1号から見る新しい眺めを楽しんでいました。



観光うかい 60周年記念 ～うかい開き、第22回全国鵜飼サミット大洲大会～

6月1日(木)、大洲の夏の風物詩であるうかが、今年もスタートしました。鵜船と屋形船が川を並走する大洲のうかいは、日本三大うかいの一つとされています。この日は天候に恵まれ、船に乗り込んだ観光客ら約240人は、目の前で鵜がアユを捕らえるたびに大きな歓声をあげていました。

また、6月5日(月)、大洲市開催は10年ぶりとなる第22回全国鵜飼サミットが大洲市民会館で開かれました。全国10都市のうかい関係者らが一同に集い、うかいに関する伝統文化の保存と継承、うかいを活



用した観光の振興について意見交換を行いました。

開催にあたり、主催者を代表して清水市長が「日本の文化である観光うかいを、これからどのような形で継承し、発展させていくか。今日集まった互いの地域の良さを知り、問題の解決を図りたい」とあいさつしました。

全体会議の後には、俳人として有名な夏井いつきさんによる記念講演が行われ、会場は約800人の参加者で大いに盛り上がり、大会に華を添えました。

春の叙勲・褒章

旭日小綬章



吉岡 昇平さん
(常磐町)
元大洲市議会議員

吉岡さんは、長年にわたり地方自治に尽力されたご功績により、このたび「旭日小綬章」を受章されました。

藍綬褒章



橋本 福矩さん
(肱川町山鳥坂)
現保護司

橋本さんは、長年にわたり更生保護に尽力されたご功績により、このたび「藍綬褒章」を受章されました。

瑞宝双光章



池田 恩四郎さん
(菅田町菅田)
元公立小学校長

池田さんは、長年にわたり教育業務に尽力されたご功績により、このたび「瑞宝双光章」を受章されました。

旭日单光章



故 山本 勝延さん
(長浜)
元大洲市公平委員会 委員長

山本さんは、長年にわたり地方自治に尽力されたご功績により、このたび「旭日单光章」を受章されました。(受章後、5月22日ご逝去されました)

大洲市民生児童委員協議会総会・研修会が開催されました
～広げよう 地域に根ざした 思いやり～

大洲市民生児童委員協議会の平成29年度総会が5月11日(木)、大洲市総合福祉センターで開催されました。

開会にあたり西尾和子会長は「近年、少子高齢化や経済的な困窮など、地域における課題は多く存在する。そのような課題を解決するべく、私たち民生児童委員は、地域と助け合いながら支援体制づくりの担い手としてつとめていきたい」とあいさつしました。

その後、20年以上在職し退任された委員3人へ、厚生労働大臣特別表彰の伝達が行われました。また、通算6年以上在職で、社会福祉の向上に多大な貢献のあった委員へ、清水市長から表彰状と記念品の贈呈が行われました。

総会終了後には、「大洲市の防災の取り組みについて」の研修会を開催し、大洲市危機管理課職員より説明を受けました。参加したみなさんは、今後の活動に役立てようと熱心に耳を傾けていました。

【厚生労働大臣特別表彰受賞者】(敬称略)

水本久美子 (平地区) 泉 美佐子 (八多喜地区)
永見 節子 (大川地区)

【市長表彰受賞者】(敬称略)

松林 政行 (肱南地区)	小島 廣 (平地区)
坂本ノリコ (南久米地区)	中野 俊輔 (菅田地区)
宮岡 孝芳 (柳沢地区)	西岡 公子 (柳沢地区)
乙井 敏夫 (新谷地区)	松岡 伸博 (上須戒地区)
谷本 絹子 (上須戒地区)	岡崎 豊 (長浜地区)
谷本 正廣 (長浜地区)	宮岡 則義 (肱川地区)



愛顔つなぐえひめ大会リハール大会



5月27日(土)、28日(日)、大洲市総合体育館にて、第17回全国障害者スポーツ大会バスケットボール競技中国・四国ブロック予選会兼愛顔つなぐえひめ大会リハール大会が行われました。大会には、中国・四国地方から男子8チーム、女子5チーム、選手・監督合わせて約150人が参加し、2日に渡って熱い戦いを繰り広げました。

27日の開会式では、清水市長が「ようこそ、大洲市へ。今日の大



月の本大会に、この会場で再会できることを心よりお待ちしております」と歓迎のあいさつをしました。

このリハール大会は、10月に行われる愛顔つなぐえひめ大会への出場権をかけた予選会でもありました。開催県として出場が決まっている愛媛県を除いたトーナメント方式で行われ、愛媛県のチームは、交流試合の枠で試合を行いました。どのチームも息の合ったプレーを披露し、会場に集まった観客を沸かせていました。

息を合わせて全力前進 ～第22回鹿野川湖ドラゴンボート大会～

肱川地域の恒例行事であるドラゴンボート大会が、5月14日(日)、鹿野川湖漕艇場で行われました。今大会には、市内外から集まった28チーム330人がエントリーし、往復約450mでタイムを競い合いました。

安定したレース運びをするチームがいれば、コースを外れてしまうチームもいるなど、どのレースも目の離せない展開となり、会場は始終盛り上がりを見せていました。



愛媛オレンジバイキングス 市長表敬訪問

5月19日(金)、バスケットボール男子Bリーグ2部の愛媛オレンジバイキングス(選手を含む5人)が市役所を訪れ1年目のシーズン報告をしました。清水市長は「今年も大洲市で開催していただき、子どもたちにプロのプレーを見て感動を与え、将来は、大洲市出身のプロバスケットボール選手が誕生するよう願っている」と語っていました。



国土交通省大洲河川国道事務所・山鳥坂ダム工事事務所だより

夏休み鹿野川ダム見学会

〜鹿野川ダムで見て、学んで、作ろう〜

夏休みに鹿野川ダムで小学生とその保護者を対象にしたダム見学会を開催します。この見学会では普段入ることができない「ダムの中」や改造工事を行っている現場を探索して、ダムについて楽しく学ぶことができます。ぜひ今年の夏休みはダム見学会へお越しください。楽しいダム工作イベントも実施する予定です。

【日時】

7月30日(日)

▽午前の部 午前9時集合

▽午後の部 午後1時集合

【場所】

鹿野川ダム管理庁舎

【申し込み受付時間】

平日 午前8時30分〜午後5時

【申し込み締切日】

7月28日(金)午後5時まで

※各時間帯30人ずつ、所要時間3時間程度を予定しています。警報発令時などの鹿野川ダムが洪水対応を行う場合、中止となる可能性があります。また、応募者多数の場合は予約を早めにご了承ください。小学生とその保

護者での参加を原則としていますが、一般の人の参加も受け付けます。ただし、歩行距離が長いいためあらかじめ御了承ください。

【申し込み先】

山鳥坂ダム工事事務所

☎343000

担当者 井上・森田



野鳥

ヤイロチョウ (八色鳥)
スズメ目
ヤイロチョウ科
全長 18cm



昭和12年に高知県西部で、国内初の繁殖が確認された野鳥です。深い山奥に渡ってきて数日でさえぐりを止めてしまうため、幻の野鳥と呼ばれています。

特徴は八色の派手な色合いで、足が長く尾羽が短い独特の姿をしていて日本で一番珍しく美しい野鳥と言われています。高知県で発見されたのと、比較的飛来数が多いため、高知県の県鳥に定められています。南予でもよく確認され、去年は市内でも撮影されています。将来が危ぶまれている農林業や里山の風景を次世代に残し、人知れず遣って来るヤイロチョウの里、大洲市であって欲しいと願っています。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

文化財

月窓公着用甲冑 1領
大洲市指定有形文化財(工芸品)
如法寺所有
(愛媛県歴史文化博物館保管)

大洲藩2代藩主の加藤泰興が所用したこの甲冑は、昭和24年(1929)に加藤家から泰興が建立した如法寺に寄贈されたものです。甲冑に付属する文書によると、兜は寛永14年(1637)に起こった島原の乱の際、出陣の用意としてこしらえたもので、鵜の羽毛を植え込んだ長鳥帽子形の特徴的な意匠となっています。

当甲冑は、大洲藩の基盤を盤石にした泰興が着用したと伝わるものであるとともに、特徴的な意匠と上質な装飾は工芸的価値も高く、大名の所用らしい貴重な甲冑と言えます。

(昭和37年11月3日指定)



写真提供：愛媛県歴史文化博物館

カメルーン便り、最終回です。みなさんこんにちは。最後にもう一度執筆する機会をただけました。嬉しい限りです。任期満了まであと40日となってしまいました。ここでの生活が当たり前となつてしまった今、日本での生活がうまく想像できません。逆カルチャーショックを受けるだろうなと思つていきます。今回は、本当に最後ということ、今まで触れてきた、カメルーン人の優しさについて、お話をさせてもらいます。

【本当の娘として接してくれるママ】

学校の帰り道にある少し大きめの家で、カメルーン料理であるクスクスを作つて売っているママがいます。イスラム教のお家で、私の友達「このクスクスがおいしいよ」と教えてくれ、月に何回かその友達とご飯を食べにいつていました。行くたびに「まあだ。元氣？」と大声で迎えてくれるママにいつも元氣をもらつていました。

半年ほどして、その友達が他の都市で働くことになり、しばらくそのご飯屋さんに行く機会がなくなつてしまいました。何か月後かに、ふと、学校帰りに挨拶に行こうかなと思ひ、そのご飯屋さんに入りました。すると、「久しぶり。まあ、元氣だったの、また会えて



カメルーンのママと梶田さん

うれしい」とすごく喜んでくれました。そして、ご飯食べる？と聞かれたので、久しぶりにママの作るクスクスを食べました。おいしく平らげた後、ごちそうさまで言つてお金を渡そうとしたら、「お金はいらないよ。ここはあなたの家。好きな時に来てご飯食べていきなさい。もちろんお金はいらないから。家族でしょ」と言つてくれました。なんて優しいんだろうと思ひました。一皿約60円程だけど、大切なお金なのに、それを見ず知らずの日本人に。こんな温かくしてくれるなんて、本当にカメルーン人に助けられていると実感しました。私にはありがとうと感謝を伝えることしかできず、歯がゆいですが、何らかの形で恩返しできればいいなと思ひています。こういった人たちのおかげで、中身の詰まった2年間を、カメルーンで過ごすことができました。本当に幸せ者です。

大洲商工会議所青年部 大洲ご当地クイズ

暑い日が続きますね。今年、大洲のうかいは60周年。記念式典、講演が行われました。さらには全国鵜飼サミットも大洲で開催。記念講演には俳句で有名な夏井いつきさんが登場。

また、新しくプレミアムな屋形船も誕生しました。広々とした船内で、椅子に座り、豪華な料理と共に、ゆったりとうかがが楽しめます。これからの大洲うかいから目が離せません。市民のみなさんに、ぜひ一度はうかいを楽しんでいただきたいものです。

【6月号のクイズ解答・解説編】

柳沢・田処周辺で生息しているホタルの種類はなんでしょうか。

- ① ゲンジボタル
- ② ヘイケボタル
- ③ ヒメボタル



正解…①

解説…柳沢地区を流れる矢落川流域はゲンジボタルの生息地として、愛媛県の天然記念物に指定され、数多くのゲンジボタルが訪れる人の目を楽しませてくれます。田処会場では、ホタルボランティアガイドによるゲンジボタル鑑賞とお接待を受ける事もできます。ぜひ、足を運んではいかがでしょうか。

※今月のクイズの答えは、広報おおず8月号に掲載します。

【今月のクイズ】

大洲うかい60周年を記念して、新しく誕生したプレミアムな屋形船の名前はなんでしょうか。

- ① 肱川あらし号
- ② マッハGO号
- ③ 臥龍一號

